

INTERNATIONAL Newsweek

THE
WORLDFOLIO

マックスプル工業株式会社 さまざまな用途に適した信頼できるウインチ

ウインチは、産業や日常生活の多くの場面を支える隠れた主役であり、マックスプル工業は、そんな多様なニーズに応えるウインチのスペシャリスト

「私たちはグローバルな展開を通じて持続可能な企業を構築しています。」

マックスプル工業株式会社 代表取締役社長 小野 幸一

1976年に創業したマックスプル工業は、さまざまな場面で、重量物を垂直または水平に移動させる「手動ウインチ」および「電動ウインチ」を専門的に取り組んできた。

「ターゲットとする特定の分野はありません」と、マックスプル工業の代表取締役社長である小野幸一氏は語る。「マクドナルドの懸垂幕をご覧になったことがありますか？ それらは私たちのウインチを使って昇降させています。動物園では、フラミンゴが飛び出すのを防ぐために、ウインチがネットを維持しています。日本のお祭りでは、マックスプルウインチが、山車に乗った巨大な人形を頭上の電線の下に潜り込ませています。これらは当社の製品の用途の一部です。」

2050年までにカーボンニュートラルを目指す日本では、マックスプルも再生可能エネルギーの生産に一役買っている。三菱重工業の風力発電機で、高さ100メートルのタービンまで交換部品を運んでいるのが同社のウインチだ。

マックスプルは、日本の製造の原点である「ものづくり」にこだわり、製品の安全性はもちろんのこと、顧客の要望にきめ細かく応えている。「私たちはお客様の声に注意深く耳を傾けます。」と小野氏は言う。「私たちのユニークな強みは、お客様と話をし、どんなものをどの方向に動かす必要があるかを見つけることにあります。」

日本国内では、70%の市場シェアを誇っているマックスプルだが、高齢化による内需の縮小により、2013年からグローバル展開を開始した。「主なターゲットは東南アジアです。」と小野氏は言う。「現在、シンガポール、マレーシア、ベトナム、インドネシア、タイに販売代理店があります。」「また、ドイツ、英国、フランス、スペインなどの欧州諸国や米国などの先進国でも積極的な販売とマーケティング活動を展開しています。」